

心肺蘇生法講習会 報告



3月7日（火）の午後、各部活動代表と2年生保健委員、計50名が武道場で心肺蘇生法講習を受講しました。
講師は稲沢市民病院のライフサポートチームの方にお願ひしました。
また今回は、PTA役員5名の方にも一緒に参加していただきました。



参加した人の感想を紹介します。

- ◆勇気を出して声をかけることが一人の命を救うきっかけになることが改めてわかった。
- ◆実際に人が倒れていたら少しでも自分ができることをしたい。
- ◆もし誰かが倒れていて応援を求めている人がいたら、積極的にかかわりたい。
- ◆完璧じゃなくてもよいので少しでも手助けしてあげたい。
- ◆今後の生活の中で今日習ったことを実施する日が来るかもしれないので、その時は冷静に対応したい。

- ◆今回2回目の講習で、前回よりもスムーズに実習ができた。もしこういうことが起きた時は、だれよりも早く行動して、一人でも命を救いたいと思った。
- ◆小学校の時に胸骨圧迫とAEDの使い方を習ったけれど忘れてしまったので、今日もう一度説明を聞いて体験することができて良かった。
- ◆人工呼吸の講習も受けてみようと思った。

☆講習では、AEDのパッドを貼るときの女性への配慮や、小児の対応についても学びました。

- ◆(素肌に)パッドを貼った上に、タオルや布をかけてもいいということがわかった。
- ◆女性への配慮や、年齢別の対応をしっかり覚えておきたいと思った。



- ☆AEDから流れる実際の音声も聞きました。
- ◆AEDが家の近くのどこにあるか調べておきたいと思った。
- ◆AEDは誰にでも扱いやすいものだわかった。

岩倉総合高校のAEDは職員玄関前にあります

保健委員と保健部の先生で、
シミュレーション訓練も行いました。

訓練では、保健委員が連携してプールサイドで倒れた先生を救助します。119番通報に向かう人、AEDを持ってくる人、胸骨圧迫（心臓マッサージ）をする人…救急隊に引き継ぐまでの様子を演じました。

